



石部小学校 コミュニティスクール (令和元年度活動報告特集号)

令和2年3月 発行

— 第7号 —

石部小学校
学校運営協議会
理事長 古賀 和男
広報担当
石本 奈緒
TEL:77-2030

石部小学校コミュニティスクールは賛助会、地域、保護者の皆様のご理解、ご支援をいただき、おかげさまで5年目の活動を実施することができました。そこで、本号では主に今年度の各運営委員会の活動実績についてご報告いたします。

〈学習支援委員会〉

理 事：肥夏明子・石本奈緒・寺田弘史・小谷千恵
運営委員：石田賀子・山井良一・笠井義則

学習支援委員会では、今年も夏休みに4日間(7/19、7/27(台風接近のため中止)、8/2、8/9、8/21)、冬休みに1日(12/23)の合計5日学習教室を開催しました。夏休み学習教室の参加者はのべ343人、冬休み学習教室は96人とほぼ前年と同人数となりました。学習教室は、1・2年生、3・4年生、5・6年生が石部まちづくりセンターの学習室などの3つの部屋に分かれ、わからない所があれば、学習ボランティアやまわりの友達に聞いたりして宿題や当教室で用意した学習プリントで勉強しました。

夏休み学習教室後に行った子どもたちの振り返りの感想では、低学年：「せんせいがおしえてくれて、いっぱいできた。」「べんきょうして、たのしかった。」「じがきれいにかけてうれしかった。」中高学年：「いろいろと調べて新しいことが分かった。」「友達にアドバイスをもらえた。けっこう進んでよかった。」「わからないところを教えてもらえるので、スイスイ進んだ。」といった、感想がありました。ご協力・ご支援ありがとうございました。

当委員会での振り返りの中で、「席を決めないことにより、教え合う様子がみられた。」「1年生で机が高いため、立ちながら学習する子がいた。」など、次年度に向けての意見が出されました。



〈体験的活動支援委員会〉

理 事：谷 弥一郎・福島 勝・三大寺 章
運営委員：青木俊雄・奥野頼子・大継綾子

体験的活動支援委員会では、わくわく科学実験教室3～6年生(7/13)、1・2年生(9/7)、もちつき大会(11/14)を開催しました。

- (1) わくわく科学実験教室3～6年生は、21人が参加してうどんづくりを通して、「グルテンの秘密」について学びました。うどんの材料である小麦粉の中にあるタンパク質がこねるとグルテンというものに変わり、生地を足で踏むことで、かみごたえのある「こし」を生み出すことがわかりました。参加した児童の感想では、「小麦粉と米粉のちがいがわかりました。」「うどんの作り方がわかりました。家でも作りたいです。」「うどんにこんなに手間がかかっていることを知って、もっと大切に食べようと思った。」「足で生地をふむのは気持ちよかったです。そして、包丁でうどんの麺にするのがとてもむずかしかったです。」などがあり貴重な体験ができました。



(2) わくわく科学実験教室1・2年生は、24名が参加し、「かたまる秘密」について学びました。寒天とゼラチンを使ってゼリー作りをし、寒天は熱に強く、ゼラチンは熱に弱いという違いを知ることができました。児童の感想では、「ゼラチンとかんてんのちがいがわかったし、ゼリーもかんたんにつくれてたのしかったです。」「おうちでゼリーをつくってみたいです。」などがあり楽しく体験ができました。



(3) もちつき大会では、5年生が10月に稲刈りをしたもち米で、PTA 学級委員の皆さんのご協力のもと、全員が杵を持ち、もちをつきました。初めての経験の子がほとんどでしたが、周りからの大きなかけ声に後押しされて、上手につくことができました。つくたてのおもちはおいしく、たくさんの子どもたちがお代わりし、見事完食しました。



＜校外生活支援委員会＞

理事：青木樹志・高谷敬之助・三吉博之
運営委員：西村民子・内林ひさ子・青木広一

校外生活支援委員会では、日ごろの子どもたちの登下校の立ち番をする中で、通学マナーが守れているかの〇△点検を実施しました。

また、今年度は夏休み防災教室(8/7)を開催しました。子ども27名、保護者4名の参加がありました。湖南中央消防署から3名の消防士さんをお招きし、地震・災害のDVD視聴(20分間)をしたあと、消防士さんより防災のお話をしていただきました。わかりやすい説明に、子ども達も保護者も興味をもって聞くことができました。その後、外に出て水消火器体験・消防車見学・消防服試着などを体験することができました。水消火器の体験では、「火事だ!」と大きな声で叫ぶ子ども達の姿が見られました。外での体験の後は、部屋に戻り、非常食(缶詰に入ったパン)の試食もし、おいしくいただきました。

児童の感想では、「いろいろなことが知れて、うれしかった。」「じしんのときの食料は大切だと思いました。」「消火器は10～15秒しか出ないことがわかった。」「もっと災害が起きた時の用意をしたい。」「一番大切なことは、“自分の命は自分で守る”ということだと思いました。」などがありました。普段なかなかできない貴重な体験をし、防災意識が高まったことを感じました。



＜運動場の芝生管理＞

石部小学校校庭の芝生を育てる会は運動場の芝生の維持管理の業務委託を湖南市から受け、その構成団体のコミュニティスクールも、芝刈り、肥料散布、冬芝の播種などを実施しました。* 右写真は、冬芝の播種後のスプリンクラー稼働の様子です。



＜賛助会員様への御礼＞

石部小学校コミュニティスクールの賛助会員様から今年度は、232,000 円(R2 年 2 月 29 日時点)の賛助金が集まりました。誠にありがとうございました。今後も子どもたちのための事業活動に役立てたいと思いますので、引き続きご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。